

2 教育課程編成・実施方針（カリキュラムポリシー）

(1) 教育課程の全体構成

宮城教育大学大学院教育学研究科専門職学位課程（教職大学院）では、多様化・複雑化する子どもの学習・発達へのニーズに応えるとともに様々な教育課題の解決を目指し、教科専門（特別支援領域を含む）、教科教育専門、教職専門の密接な連携を通して、スクールリーダーおよびその候補者としてふさわしい総合的な教師力を養成するためのカリキュラムを編成しています。

カリキュラムは、「専門高度化基盤科目」、「専門高度化探究科目」、「専門高度化深化科目」の3つの科目群から構成されており、共通専門科目としての「専門高度化基盤科目」での学修を基盤としながら、その上に「専門高度化探究科目」においてそれぞれのプログラムに対応した特色ある授業科目を履修します。また、その学修の過程においては、常に「理論と実践との往還」を基本とする「把握」、「適応」、「分析」、「開発」の段階的学修を進め、それらの学修と併行しながら「専門高度化深化科目」を履修します。

(2) 各授業科目群の構成と指導体制

● 専門高度化基盤科目（24単位）

「教職共通5領域（①教育課程、②教科指導、③生徒指導・教育相談、④学級・学校経営、⑤学校教育・教職）」（20単位）と「学校における実習（基礎実践）」（4単位*）で構成されます。

本教職大学院で体系的に育成すべき資質としての知識・技能を修得するとともに、学校現場の中核的・指導的な教員として、所属する学校のみならず広く地域全体の教育力の組織的な改善・充実に活用できる資質の育成を目指します。

* 現職教員については、審査により履修が免除される場合があります。

● 専門高度化探究科目（8単位以上）

選択したプログラムの趣旨・目的等に対応する講義・演習・実習で科目群を構成しています。入学時に設定する「実践研究テーマ（達成目標）」に関連する科目を履修することにより、知識・技能と実践力の質的向上を目指します。

● 専門高度化深化科目（14単位）

教職専門と教科専門・教科教育専門、理論と実践の「架橋」となる、演習を中心とした「実践的指導力融合科目」（8単位）と「学校における実習（臨床実践）」（6単位）で構成しています。

全プログラム共通の必修科目である「専門高度化基盤科目」を履修したうえで、各プログラムに対応した特色を持つ「専門高度化探究科目」と「専門高度化深化科目」を組み合わせることで「理論と実践の往還」を積み重ねて、教職としての総合的な力量形成を目指します。

院生各自のニーズに対応する指導体制として、院生一人ひとりを複数の教員でサポートする「教員ユニット制」を設けます。院生はそれぞれのテーマに即して、科目履修系として設けられた3つのプログラムのいずれかを履修し、修了に必要な単位を修得します。

3 入学者受入方針（アドミッションポリシー）

(1) 本教職大学院の目的

宮城教育大学大学院教育学研究科専門職学位課程（教職大学院）は、多様化・複雑化する子どもの学習・発達へのニーズに応え得る高度な専門性を有する幼稚園・小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の教員を養成することを目的としています。また、地域の教育課題と向き合い、学校や地域における教育の充実・改善に中核的・指導的な役割を果たす優れた教員の養成を目指しています。

(2) 求める学生像

現職教員 学校教育現場での経験を基に、直面する複雑・多様な諸問題に対して、深い関心と明確な課題意識を有するとともに、その解決のための方策の探究に必要な資質と能力、強い意欲、広い視野に立った実行力を有している者

学部卒業生等 学習指導・生徒指導に関する基礎的な知識と技能を備え、教員としての基本的な力量を有するとともに、高度な専門性の修得に向けた意欲と課題探究能力とを有している者で、かつ本教職大学院修了後、教職に就くことを強く志向する者

(3) 入学者選抜の基本方針

現職教員 志願者は、現職教員として勤務してきた経験に基づく問題意識や、これまでに行ってきた実践・研究の成果、入学後の研究計画を「学修・研究計画レポート」としてまとめ、出願時に提出します。入学試験は、出願書類に基づく口述試験により行い、実践に基づく問題意識が十分に形成されているかどうか、問題解決に強い意欲を持っているかどうか、研究計画が具体的に実行可能なものかどうか等を評価します。

学部卒業生等 入学試験は、教員になるための基本的な学力と学校教育や教職に関する問題意識を評価するための論述試験、および「学修・研究計画レポート」を含む出願書類に基づく口述試験により行います。口述試験では、本教職大学院での学修や研究に対する意欲、学修・研究テーマに対する問題意識、教員への志向性が十分であるかどうか等を評価します。

教育課程

「理論と実践の融合を実現」＝「専門性の深化」

～高度専門職業人としての教師の専門性の深化（高度化）の実現～

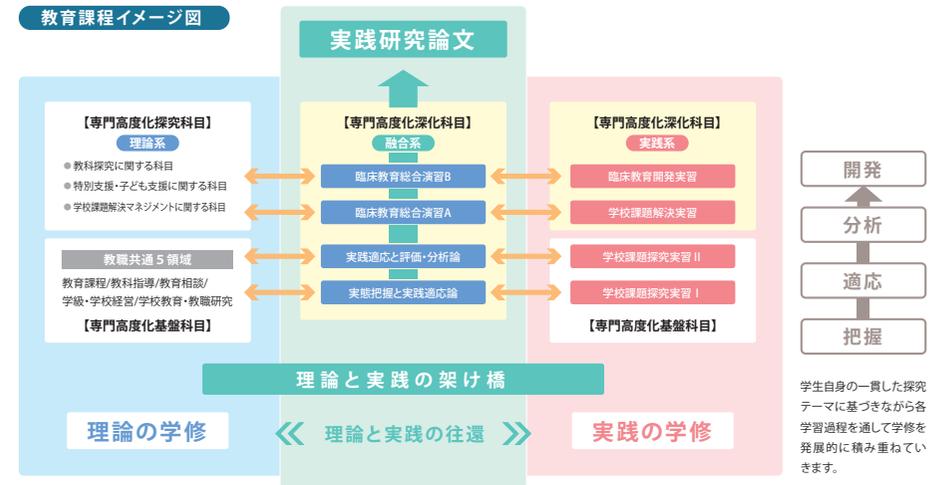
院生それぞれが、一貫した探究テーマを設定

「理論と実践との往還」を基本とする「把握」、「適応」、「分析」、「開発」の段階的学修

充実のカリキュラム

- カリキュラムは、3つの科目群「専門高度化基盤科目」「専門高度化探究科目」「専門高度化深化科目」で構成します。
- それぞれの院生が入学時に設定する「実践研究テーマ」の探究を、3つの履修プログラム（教科探究プログラム、特別支援・子ども支援プログラム、学校課題解決マネジメントプログラム）で対応。「専門高度化深化科目」は、院生の探究テーマに応じてクラス分けを行います。
- 理論の学修では、「専門高度化基盤科目」の教職共通5領域の学修を基盤に、その上に「専門高度化探究科目（選択科目）」において、3つの履修プログラムに対応した特色ある授業科目を履修します。
- 実践の学修では、「専門高度化基盤科目」と「専門高度化深化科目」の実習系科目を系統的・発展的に履修します。
- そして「理論と実践の往還」の実質化、その架け橋となる融合系科目において、学生の一貫した探究テーマに基づきながら「把握」「適応」「分析」「開発」の各学習過程を通して、学修を発展的に積み重ねていき、実践研究論文の作成へとつながっていきます。
- 院生が自己の中で「理論と実践の融合」を実現化させていくことを「専門性の深化」ととらえ、最終的に高度専門職業人としての教師の専門性の深化（高度化）を実現していきます。

教育課程イメージ図



学生自身の一貫した探究テーマに基づきながら各学習過程を通して学修を発展的に積み重ねていきます。

高度教職実践専攻科目

授業科目名		単位	対象年次	専修免許状の対応	
共通領域科目 専門高度化基盤科目	教育課程の編成・実施に関する領域	学びの地図と資質・能力	2	1	幼・小・中・高
		カリキュラムマネジメントと教師の役割	2	1	幼・小・中・高
		社会に開かれた教育課程と授業開発	2	1	幼・小・中・高
	教科の実践的指導に関する領域	授業設計・教科内容構成論(基礎)	2	1	小・中・高
		授業設計・教科内容構成論(応用)	2	1	小・中・高
		教育における臨床の学の創造	2	1	幼・小・中・高
	生徒指導・教育相談に関する領域	子どもの生活と行動・実態把握論	2	1	幼・小・中・高
		子どもの生活と行動・実態把握論(特別支援)	2	1	特支(5領域)
		子どもの生活と行動・実態分析論	2	1	幼・小・中・高
		子どもの生活と行動・実態分析論(特別支援)	2	1	特支(5領域)
		特別支援教育と学校・学級経営	2	1	幼・小・中・高
	学級経営・学校経営に関する領域	特別支援教育と学校・学級経営(特別支援)	2	1	特支(5領域)
		安心・安全な学級・学校づくり(基礎)	2	1	幼・小・中・高
	学校教育と教員のあり方に関する領域	安心・安全な学級・学校づくり(応用)	2	1	幼・小・中・高
		地域協働と学校づくり	2	1	幼・小・中・高
学校における実習(基礎実践)	教師の成長と子どもの発達	2	1	幼・小・中・高	
	学校課題探究実習I	2	1	幼・小・中・高	
	学校課題探究実習II	2	1	幼・小・中・高	
	教育における臨床の知	2	1・2	幼・小・中・高	
教科探究科目	教育実践記録と授業分析論	2	1・2	幼・小・中・高	
	社会変動と学力論	2	1・2	幼・小・中・高	
	クロスカリキュラムの学習と評価	2	1・2	幼・小・中・高	
	授業検証と教科内容開発(基礎・国語科)	2	1・2	小・中(国)・高(国)	
	授業検証と教科内容開発(応用・国語科)	2	1・2	小・中(国)・高(国)	
	授業検証と教科内容開発(基礎・社会科)	2	1・2	小・中(社)・高(地・公)	
	授業検証と教科内容開発(応用・社会科)	2	1・2	小・中(社)・高(地・公)	
	授業検証と教科内容開発(基礎・算数・数学科)A	2	1・2	小	
	授業検証と教科内容開発(基礎・算数・数学科)B	2	1・2	中(数)・高(数)	
	授業検証と教科内容開発(応用・算数・数学科)A	2	1・2	小	
	授業検証と教科内容開発(応用・算数・数学科)B	2	1・2	中(数)・高(数)	
	授業検証と教科内容開発(基礎・理科)A	2	1・2	小・中(理)・高(理)	
	授業検証と教科内容開発(基礎・理科)B	2	1・2	小・中(理)・高(理)	
	授業検証と教科内容開発(応用・理科)A	2	1・2	小・中(理)・高(理)	
	授業検証と教科内容開発(応用・理科)B	2	1・2	小・中(理)・高(理)	
	授業検証と教科内容開発(基礎・英語科)	2	1・2	小・中(英)・高(英)	
	授業検証と教科内容開発(応用・英語科)	2	1・2	小・中(英)・高(英)	
	授業検証と教科内容開発(基礎・技術科)	2	1・2	中(技)	
	授業検証と教科内容開発(応用・技術科)	2	1・2	中(技)	
	授業検証と教科内容開発(基礎・家庭科)	2	1・2	小・中(家)・高(家)	
	授業検証と教科内容開発(応用・家庭科)	2	1・2	小・中(家)・高(家)	
	授業検証と教科内容開発(基礎・音楽科)	2	1・2	小・中(音)・高(音)	
	授業検証と教科内容開発(応用・音楽科)	2	1・2	小・中(音)・高(音)	
	授業検証と教科内容開発(基礎・美術科)	2	1・2	小・中(美)・高(美)	
	授業検証と教科内容開発(応用・美術科)	2	1・2	小・中(美)・高(美)	
	授業検証と教科内容開発(基礎・保健体育科)	2	1・2	小・中(保体)・高(保体)	
	授業検証と教科内容開発(応用・保健体育科)	2	1・2	小・中(保体)・高(保体)	
	特別支援・子ども支援科目	インクルーシブ教育総論	2	1・2	特支(5領域)
		特別支援教育コーディネーター概論	2	1・2	特支(5領域)
		支援が必要な子どもと学校教育I(知的障害・自閉症スペクトラム障害等)	2	1・2	特支(5領域)
		支援が必要な子どもと学校教育II(感覚障害・運動障害・身体疾患系)	2	1・2	特支(5領域)
		不登校・学校不応答状況と学校教育	2	1・2	特支(5領域)
		子どもをめぐる社会的諸問題と福祉	2	1・2	特支(5領域)
		特別支援教育とICT	2	1・2	特支(5領域)
	学校課題解決マネジメント科目	地域協働フィールドワーク論	2	1・2	幼・小・中・高
リーガルマインドによる学校づくり		2	1・2	幼・小・中・高	
学校安全と防災教育		2	1・2	幼・小・中・高	
情報リテラシーとICT		2	1・2	幼・小・中・高	
グローバル教育課題の探究		2	1・2	幼・小・中・高	
幼年期の教育と幼保小連携・接続	2	1・2	幼・小		
学校における実習(臨床実践)	学校課題解決実習	2	1	幼・小・中・高	
	学校課題解決実習(特別支援)	2	1	特支(5領域)	
	臨床教育開発実習	4	2	幼・小・中・高	
	臨床教育開発実習(特別支援)	4	2	特支(5領域)	
	実態把握と実践適応論	2	1	幼・小・中・高	
実践的指導力融合科目	実践適応と評価・分析論	2	1	幼・小・中・高	
	臨床教育総合演習A	2	2	幼・小・中・高	
	臨床教育総合演習A(特別支援)	2	2	特支(5領域)	
	臨床教育総合演習B	2	2	幼・小・中・高	
	臨床教育総合演習B(特別支援)	2	2	特支(5領域)	